

karigane



NO. 376

かりがね

【季刊】かりがね

発行人／社会福祉法人かりがね福祉会
昭和54年9月26日 第三種郵便物認可
3、6、9、12月1日発行
平成29年3月1日発行

Contents

表紙 在宅支援センターえ～る

裏表紙 いこいの家ギャラリー・

プロジェクトの経過報告・編集後記

プロジェクトの経過報告…………… P1, 2

在宅支援センターえ～る…………… P3

いこいの家…………… P4

OIDEYOハウス旅行…………… P5

プロジェクトの経過報告・感謝録…………… P6



かりがね福祉会【看取り支援】

～幸せな最期を～



かりがね福祉会では、今まで数名の方の看取りをさせていただきました。

看取り支援は、施設で終焉を迎える方の精神的な負担を軽くし、安らかに過ごせるよう支援する事だと考えています。今まで、看取りに対する指針や実施要綱が無かったため、延命治療はどうか？次はどうしたらいいか？と戸惑う事が多々ありました。

現在、ライフステージかりがねには、ご高齢の方が多く暮らしています。看取り支援を考えるにあたり、安らかな最期を迎えるにはどうしたらいいのか？と各職種のスタッフが集まり検討を重ねました。ご本人の望みを最優先する中で、可能な限り穏やかにご本人らしい終焉を迎えていただき、そして、残されるご家族がより良いお別れの時を過ごせるように、かりがね福祉会の[看取りの指針][確認書]を作成させていただきました。(茅野)

【看取りの指針】

かりがね福祉会看取り支援について

1. 看取り支援の考え方

- ・御本人の自己決定と尊厳を守り、出来る限り望む暮らしや希望する支援を行います。
- また、安らかな最期を迎えるために精神面のケアを中心とした看取り支援を施します。

2. 実施時期について

- ・医師の診断により回復の見込みがないと診断された時点から看取り支援の実施となります。

3. 実施内容について

- ・かりがね福祉会で出来る範囲の看取り支援を実施します。

※看取りマニュアルは現在作成中です。

【栄養と水分】

食事や水分摂取、浮腫み、尿量、排便量、バイタル確認等を行います。

食事が減ったり、嚥下機能が低下したりします。無理のない形態・量を提供します。(場合によっては、配食弁当の提供なども行います。)

【緩和】

- ・身体面：楽な体位の工夫や必要に応じて喀痰吸引を行います。
- ・精神面：コミュニケーションやスキンシップ・出来る範囲の外出などを実施
- 不安を取り除けるよう努めます。

【ご家族】

身体状況報告および説明、支援内容について、意思確認等をさせていただきます。

定期的に連絡・会議を実施します。

【亡くなる時の支援】

医師により死亡が確認された後は、エンゼルケアを施行します。

共に暮らししてきた方々やスタッフでお別れが出来るようになります。

(施設葬に〇をした方は、連絡や調整等も行います。)

最期の時、幸せだった。と感じていただけるよう努めます。

ご家族より



みんなで最期を看取ってもらい、本当に幸せだったと思います。



お別れ会や葬儀、お見送りまで、ライフステージでしてもらい、感謝しています。



入院中は、みんながお見舞いに来てくれ、嬉しかったです。

最期

来年度は、具体的なケア方法や整備環境などを検討していきます。

そして、これからも最期まで、幸せで暮らせるよう支援させていただきます。

【確認書】

看取り支援事前確認書（案）

かりがね福祉会では、治療による効果が望めないと診断された方には、最期までかりがね福祉会で過ごすことを望まれる場合において、可能な限り、精神面のケアを中心とした終末期ケアを行います。

容体が悪くなった時には、倫理的に問題のない範囲で、御本人と保護者様（代理人）の意思を最大限尊重し、できる限りの「より良く生きること」の手助けをしたいと考えております。

つきましては、下記の質問項目を可能な範囲で結構ですので、該当する箇所に○印をお願い致します。

※尚、この確認書はいつでも変更や撤回が出来ますので、ご安心下さい。

質問1 延命治療について

御本人	代理人	内容
		医療行為は主治医の判断に任せます。
		できる範囲で、痛みや苦しみを除いてほしい。
		医療行為は希望しません。自然のままに過ごしたい。
		その他（ ）

質問2 医療行為について（水分や栄養が摂れなくなった時、どこまで希望されますか）

御本人	代理人	内容
		点滴を受けたい
		鼻から管を入れて、栄養を注入してほしい。
		腹部に穴を開けて、胃に直接 管を入れ栄養を注入してほしい。
		その他（ ）

質問3 終末期を迎える場所について

御本人	代理人	内容
		自宅に戻りたい
		総合病院などに入院したい
		住み慣れた馴染みの施設で過ごしたい
		その他（ ）

質問4 お亡くなりになった場合の対応について

御本人	代理人	内容
		自宅葬にて
		葬儀社に依頼する
		施設葬にて
		宗教・宗派（ ）
		菩提寺・教会（ ）
		墓地の場所を記入（ ）
		かりがね福祉会と分骨を希望されますか（ はい ・ いいえ ）

5. 連絡先について

優先	氏名	続柄	連絡先
1番	様		TEL（家・職場） TEL（携帯） 住所
2番	様		TEL（家・職場） TEL（携帯） 住所
3番	様		TEL（家・職場） TEL（携帯） 住所

6. その他 想いをお聞かせください。

※この確認書は事前のものであり、看取り支援が実施される時には、再度確認させていただきます。

____様については、上記のような対応を希望します。

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

事業所名 ○○○○○○○○○○○○○○

事業所住所 △△△△△△△△△△△△△△

代表者氏名 □□□□□□□□

御利用者様氏名 ㊟

代理人氏名 ㊟

続柄 _____

在宅支援センターえ〜る

“え〜る”は重度包括支事業と在宅支援事業の二つの事業に分かれていますが、今回は在宅支援事業の紹介です。

在宅支援センターえ〜るの利用者さんの年齢幅は広いです。成人利用者さんは日中活動支援、児童さんには放課後や学校休業日の際のお預り支援などを行っています。利用者さん一人ひとりが日々を楽しく安心して過ごし、自立を目指す暮らしを支えます。

成人 活動紹介

主に居宅介護、行動援護、移動支援のサービスを利用し、一人ひとりの利用者さんに合った個別活動、余暇の提供をしています。ワーク活動や散歩、外食や買い物、電車に乗るなどそれぞれの利用者さんが楽しみとやりがいを感じて頂けるような支援を組み立てます。

また、重度包括支援とも連携を図り、音楽療法やレクリエーション、季節のイベントにも参加しています。
(和久井)



児童 活動紹介

曜日ごとに活動を決め、利用者さんとスタッフが一緒に活動し、様々な体験の場を提供します。月曜：スポーツクラブ（レクリエーション）火曜：カフェクラブ（おやつ作り）水曜：アートクラブ（書道・制作活動・絵具遊び…）木曜：体験クラブ（音楽療法・プール・図書館・お買い物…）金曜：個別活動、土曜：外出・調理体験・事業所体験等です。活動を通して、楽しさ・難しさ・期待感・達成感・協調性などを感じ、将来のストレングス（強み）となる事を見つけられるような支援をめざします。
(窪田)





いこいの家新聞



作品展によせて／長崎さん

昨年はいこいの家の作品展を初めてやりました。今まで描いた作品、初めて作った作品を展示しました。初めてでしたがそれなりに見て下さる方、買って下さる方がいました。また、どこかで展示ができたと思います。いこいの家で絵を描いているとき時が私にとって一番良い時です。これからもたくさんの絵と作品を描いたり作れたらと思います。



昨年、いこいの家は『カフェ & ギャラリー Saan』で作品展をしました。作品展によせて出展者に寄稿していただきました。

作品展を振り返る



作品展によせて／佐藤さん

はじめて、いこいの家の作品展という事で、展示とグッズの販売をしました。展示する作品は以前から書き溜めていたパステル画と、昨年からはじめた絵手紙を見てもらいました。グッズの販売は楊枝入れを折り紙で折って楊枝を入れたのと、葉、ポストカード、ぼち袋を作って絵を描きました。一番苦労したのは、値段設定です。高すぎず、売れそうな値段にするのに頭を痛めました。本当に売れるのかなという心配をよそに楊枝入れをいくつも買って下さる方がいて、完売する事ができました。大変嬉しかったです。また、販売の当番をさせていただき、自信に繋がりました。心残りは、大雪が降って作品展の準備ができなかった事です。

カフェ & ギャラリー Saan の皆様、いこいの家の皆様のおかげで作品展が無事終了する事ができました。ありがとうございました。

あなたにとって (いこいの家) は
どんな場所ですか？

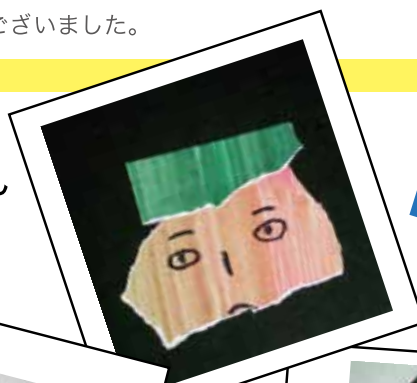
利用してる方に聞いてみました

- A1.
地域や外との交流の場所
- A2.
ほっとできる場所
- A3.
いこえる場所

このような機会をもらい、せっかくの場となるべく利用されている方から声をもらって作るうと思いました。事情を話すと「大勢の人に見てもらえるのなら」と心良く協力してくれました。展示会もそうですが、外への発信する事が、いかに大切かを考えるいい機会になりました。

おわりに

作者／塚原さん



いこい
ギャラリー

作者／佐藤さん



作者／宮下さん



OIDEYO ハウス＊旅行

OIDEYOハウスでは利用者間の交流やレクリエーションを目的として、年に一度旅行へ行っています。また、水族館や宿泊施設などの公共施設を利用を通じて、お仕事の様子を拝見させていただき、日々の作業に活かしていこうという目的もあります。今年度は11月に3つのグループに分かれて実施しました。

新潟旅行

待ちに待った一泊旅行。一日目はマリンピア日本海へ！水槽のトンネルがとてもキレイでした★イルカショーではたくさんの人の中からOIDEYOハウスのメンバーが選ばれ、イルカと握手をしました。参加したSさんは「可愛い～」と大喜び！旅館に向かう車中では日本海に沈む夕日が幻想的！旅館ではおいしい料理を食べながらカラオケ大会♪二日目は新潟ふるさと村にて昼食とおみやげを購入。楽しい2日間でした。



黒姫高原ペンション旅行

一日目は美味しいハンバーガーを食べた後、黒姫童話館へ。懐かしい絵本がずら～っと並び、子どもに戻ったような気持ちになりました。

ペンションでは外を散歩したり、部屋でゆったり過ごしたりと思い思いの時間を過ごしペンションを満喫。美味しいコース料理でお腹がパンパンになりました(＾o＾)

二日目はみんなでピザ作り♪自分で作ったピザの美味しさは格別でした☆

NHK長野放送局も見学し、とても良い経験になりました。



小布施日帰り旅行

陽光山玄照寺を散策後、小布施総合公園を散策。道の駅オアシス小布施にて釜炊きごはん和風定食を堪能しました。須坂の福祉事業所が経営しているケーキショップで自分の食べたいケーキを選び、美味しくいただきました♪傘鉾会館ドリームホールでは伝統の技に触れ、日本の歴史を学びました。



風の工房・あうら検討プロジェクト

今年度より風の工房スタッフを中心に有志を募り、“あうら”という活動スペース発足のための検討プロジェクトが始まりました。かりがね福祉会のブランドデザインにおいては、平成31年度より事業としてスタートさせていくことになっています。

この“あうら”というスペースは、グッズや商品のもととなる“素材作り”の活動を通して、利用される方が地域と繋がるキッカケを作っていくことを目標としています。

利用される方一人一人の好きな事・得意なことに目を向け、それぞれあに合った活動を展開していくことで、個性的で温かい素材たちがたくさん生まれ

てくることと思います。

“あうら”が素材作りの場を目指していく一方で、“風の工房”はよりアートに特化したスペースとして地域の中で認められる存在を目指していきます。

全国で先進的にアート活動に取り組んでいる事業所も参考に、風の工房にしかできないアート活動を創造していけたらと思っています。

二つのスペースが、地域で生活されている方々がより充実した日々を送っていくための“いばしょ”として、さらに細かいニーズにも対応できるような空間になっていければと思います。（本多将）

感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※敬称略させていただきます 平成28年10月1日～平成28年12月31日

寄贈物品

小林春江 菅平牧場 山口 藤沢庸助 橋詰信幸
坂口浩 山口けさみ 橋詰文男 堀内久子
安藤善晴 東信ガス（有）加藤製作所
新日本警備保障（株）（株）アオヤギ印刷
井出時子 坂口哲雄
林檎、大根、白菜、とうもろこし、古着、米、
さつまいも、布団、牛乳パック、味噌、石鹸、
お菓子、食器、籐椅子他以上

寄付金

合同会社コマンド A （有）加藤製作所 塚田弘
人 小林彰 堀内艶子 （株）石原産業社員一同
合計 87,125円

平成28年度運営会員ご入会者

■長野県 小林彰 竹井達郎 笠原栄司・恵津子
小西葉子 月内けさみ 辰野宗味 坂口祐紀
若林喜久雄 大野征子 桂川彰雄 清水君枝

清水俊治 上原いさ子 ■東京都 小林英司
■千葉県 石川明子 ■埼玉県 森澤将
（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

平成28年度運営会費納入金額

	会員数（名）	会費（円）
長野県	186	839832
北海道	1	5000
東北地方	1	10,000
関東地方	27	209790
中部地方	5	31,000
北陸地方	6	33,000
近畿地方	6	42,000
中国地方	1	3,000
四国地方		
九州地方		
合計	233	1,173,622

（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

運営会員ご加入のお願い

かりがね福祉会は皆様のご支援によって支えられています。会費は法人各施設の設備や備品の充実等のために使われます。また、会員の方には年4回機関誌等を送付しています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。専用振込用紙のお取り寄せ、その他お問い合わせは法人本部までお願い致します。

年会費

1口 1,000円（何口でも結構です）

期間

1年単位（ご入会より1年間）

ご入会方法

●ゆうちょ銀行 [00550-3-8487]

名義「社会福祉法人 かりがね福祉会」

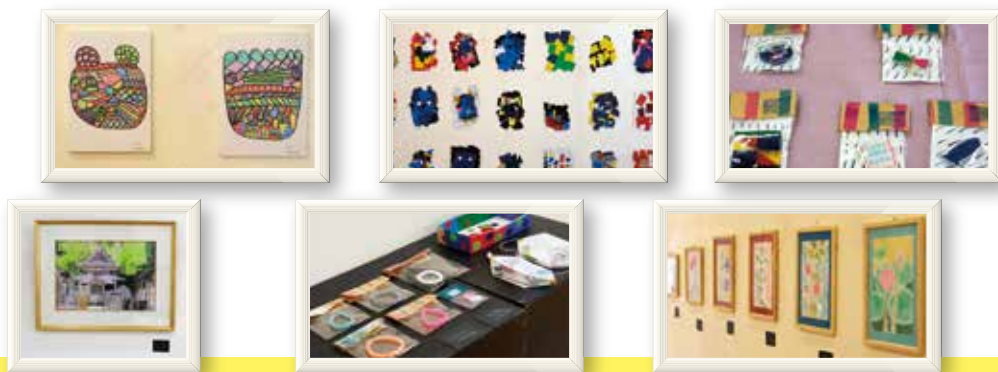
●上田信用金庫 真田支店 [普通預金：95578]

名義「社会福祉法人 かりがね福祉会 理事 小林 彰」



part 2

まだまだ
ステキな作品あります!



コミュニティカフェ活用プロジェクト

ライフステージかりがね改築当初、ライフステージかりがねの利用者さんだけではなく、他事業所の人たち、地域の人たち等「様々な人たちが」利用できる「多目的ホール」の意味合いを基に設置されたのがコミュニティカフェです。

平成28年度にコミュニティカフェ活用プロジェクトが立ち上げられ、現在コミュニティカフェの有効活用について話し合いがもたれています。プロジェクト会議を重ねていく中で、各事業所が取り組んでいる「アート」の部分に目が向けられ、それらを展示する「ギャラリー」として活用していこうと、方向性が絞られました。

現在は①ハード面の調整

(多目的に使用できる汎用性)②法人内での展示システム作り③人が集まるイベント(マルシェ・他法人合同展示会等)の試行的実施など、具体的な課題をどう解決していくか話し合いがもたれています。また、今年度は試行的に各事業所の作品の展示も実施されコミュニティカフェ【ギャラリー化】に向けて着々と準備がなされています。(坪田)



編

集

後

記

今日(1/25)、ダンスグループのセレノグラフィカさんがOIDEYOハウスの利用者さんと雷グッズの元となるシール貼りを行なうというコラボ企画がありました。素敵なダンスも拝見し、楽しい時間を過ごしました。完成した作品はサントミュージゼにて展示され

ていますので、ぜひお出かけになってみてはいかがでしょうか? 次回の販売会はアースデイ in 佐久(4月22日(土)10:00~15:00 佐久市民交流ひろば)です。自然豊かな真田で育った“黒ゴマ”も絶賛販売中ですので、ぜひ販売会にお越しください♪

(三浦)

社会福祉法人 かりがね福祉会

URL <http://www.karigane.or.jp/>

■法人本部/ライフステージかりがね

〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1 TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406

■在宅支援センター・重度包括支援 え〜る

〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1 TEL/FAX.0268-72-8022

■つつじ

〒386-2201 長野県上田市真田町長7166-8 TEL.0268-75-5431 FAX.0268-75-5434

■ミライエ

〒386-2201 長野県上田市真田町長7166-8 TEL/FAX.0268-71-7810

■共同生活サポートセンター

〒386-2202 長野県上田市真田町本原531-1(よつばのいえ内) TEL/FAX.0268-72-2434

■風の工房

〒386-2201 長野県上田市真田町長2464-1 TEL.0268-72-2151 FAX.0268-72-4976

■OIDEYOハウス

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽8551-2 TEL/FAX.0268-73-0005

■アトリエFuu

〒386-2202 長野県上田市真田町本原531-2 TEL/FAX.0268-72-1061

■希咲館

〒386-2202 長野県上田市真田町本原1491 TEL/FAX.0268-72-5067

■いこいの家

〒386-2202 長野県上田市真田町本原2376-2 TEL/FAX.0268-72-8008

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしております。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。